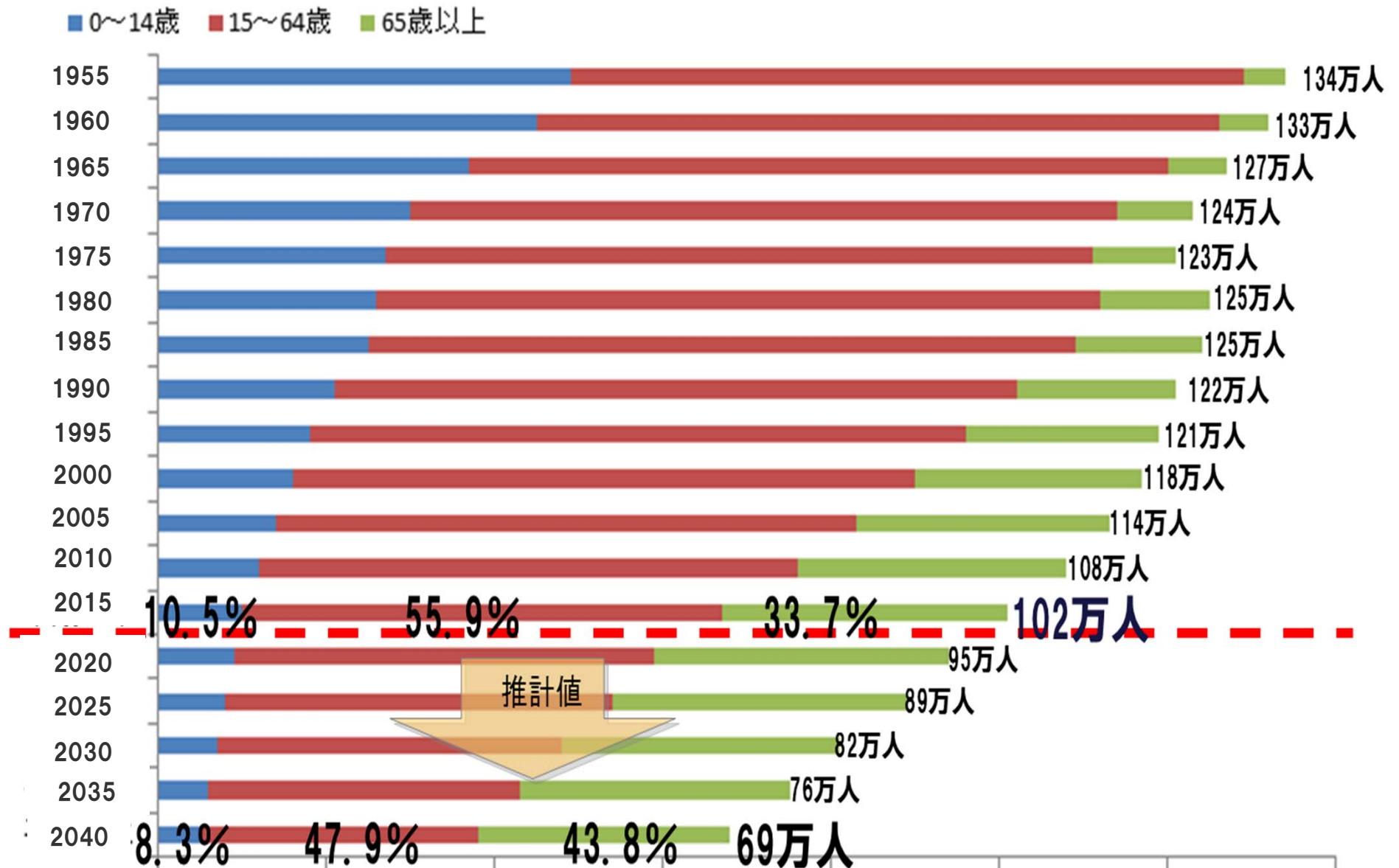


地域資源を活用した地方銀行のチャレンジ ～プロジェクトファイナンスで地域プロジェクトをサポート～

株式会社北都銀行
頭取 齊藤 永吉

①秋田県の課題

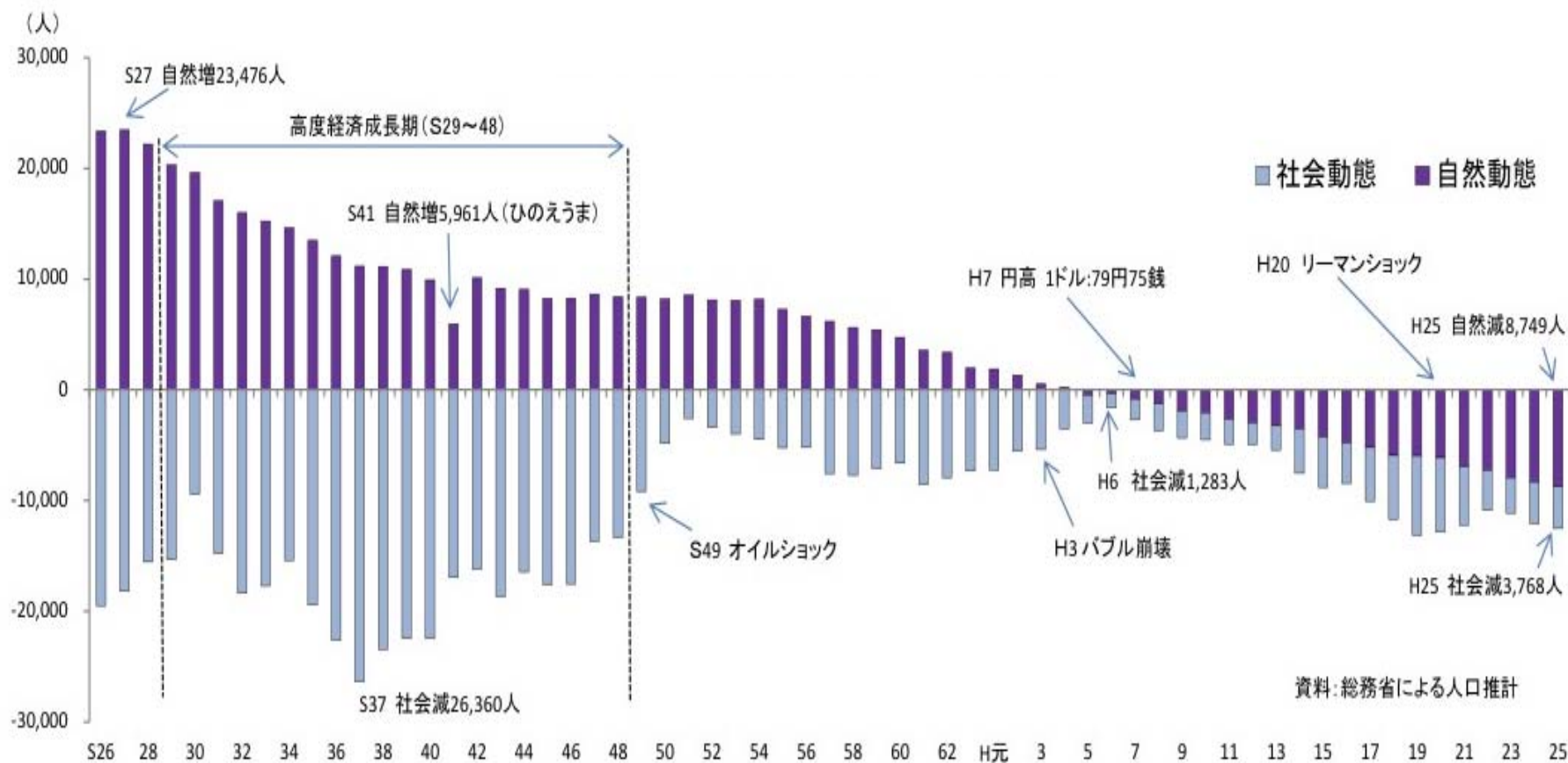
秋田県の課題①人口減少と高齢化の進展



【資料：秋田県人口ビジョン（平成27年10月）より当行作成】

秋田県の課題②人口減少の要因

【図表】 秋田県の社会動態及び自然動態の状況

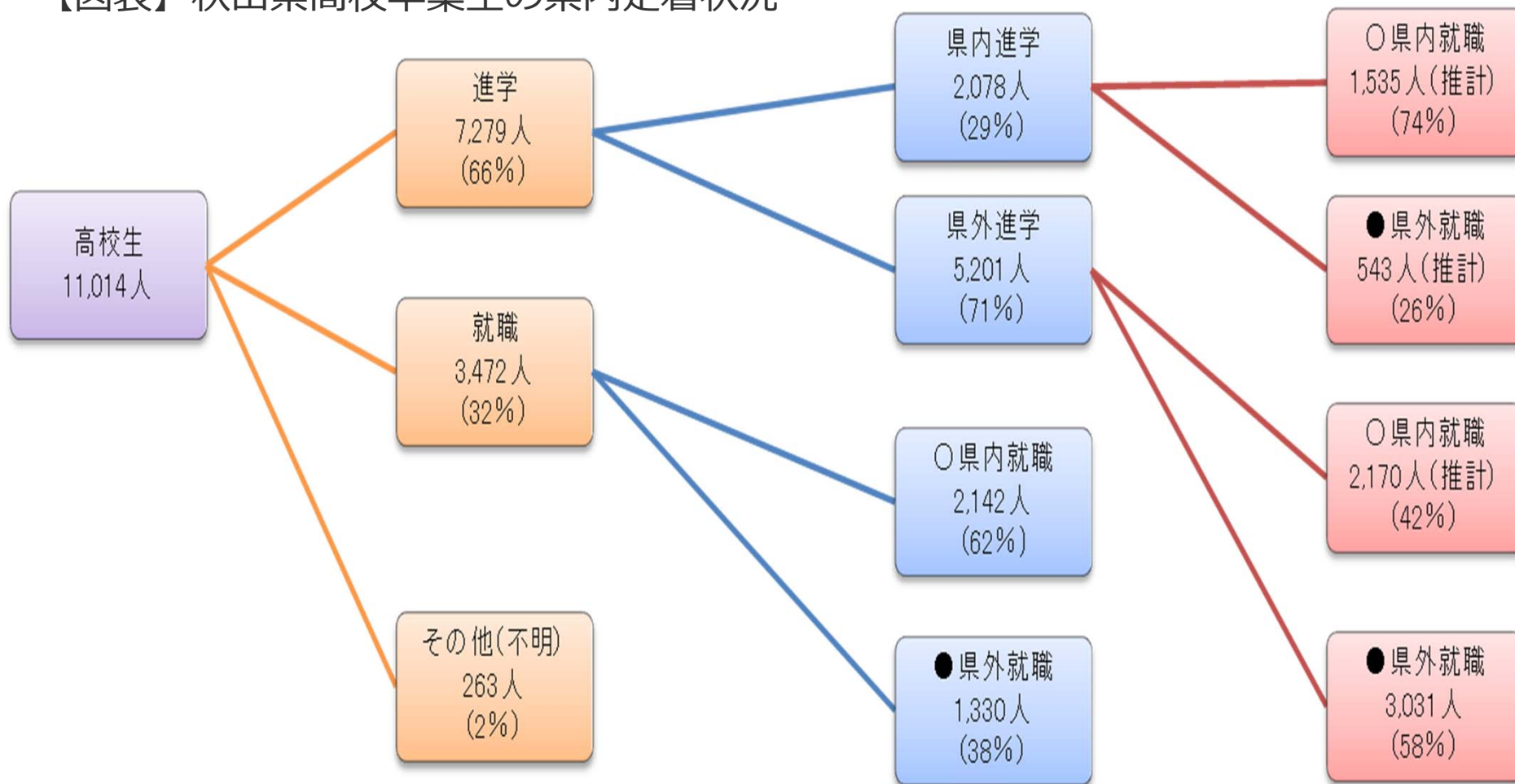


【資料：秋田県 『秋田の人口問題レポート（平成27年3月）』】

✓ 従来の『社会減』による人口減少が累積していったことに加え、平成5年以降は、『自然減』の影響が拡大。

秋田県の課題③若年層の県外流出

【図表】 秋田県高校卒業生の県内定着状況



○県内就職	5,847人	(53%)
●県外就職	4,904人	(45%)
その他	263人	(2%)
計	11,014人	

【資料：秋田県人口ビジョン（平成27年10月）】

②北都銀行の経営戦略

秋田の発展が当行の成長へ

地域課題の解決

地域にイノベーション
を起こす

地方創生戦略の強化（8つのイノベーション戦略）

①再生可能エネルギーを軸とした新しい産業の創出	⑤女性の活躍フィールドの創出
②中小企業の新しい価値創造	⑥県外・海外からの移住促進
③農業の高付加価値化（6次産業化）支援	⑦グローバル戦略による秋田ブランド確立
④シニアが輝く地域づくり	⑧観光資源を活用した地域づくり

“地域リスク”をとるための経営基盤を強化

③地域資源の活用

再生可能エネルギー資源の宝庫

恵まれた風況



県土の
約7割が森林



全国有数の
温泉地帯



新しい産業の創出

④風力発電事業への参入



ウェンティ・ジャパン



ローマ神話で風の神の総称 VENTI。古代ラテン語で風の意味。

【カンパニーメッセージ】

「僕らの目指すもの… 秋田発の風エネルギー」



ウェンティ・ジャパンは、東北、北海道の日本海側を中心とした豊かな風で風力発電事業を展開する会社です。

化石燃料に頼りすぎたエネルギー事情への反省と、東日本大震災を契機とした原子力発電所のありように関する議論の中、再生可能エネルギーに対する期待は大きくなっています。

当社の事業の中心地域である秋田県は、風力、地熱、バイオマスなど再生可能エネルギー資源の宝庫です。

とりわけ風力発電については国内屈指のポテンシャルがあり、電力の固定価格買取制度(FIT)を機に、風力発電への参入が活発になっています。

ウェンティ・ジャパンは、こうした地の利を活かした風力発電事業と付随する保守メンテ事業などの関連事業を展開していきます。さらには、風力発電設備に関連する製造業などの産業創出を目指してまいります。

創業	2012年9月
資本金	30百万円
代表者	代表取締役社長 佐藤 裕之
従業員数	7名
事業	<ul style="list-style-type: none"> ・風力発電事業 ・発電施設の開発や運営、保守・管理
株主	羽後設備(株) (株)市民風力発電 羽後電設工業(株) (株)フィデア総合研究所 フィデア中小企業応援ファンド 1号投資事業組合



←設立記者会見

<ご参考> ウェンティ・ジャパンの開発案件

設置場所	規模	スポンサー
秋田市向浜（稼動済）	2,000Kw 1基	VENTI 市民風力発電
由利本荘西目（稼動済）	2,000Kw 1基	VENTI 市民風力発電
北海道石狩（稼動済）	2,000Kw 2基	VENTI 市民風力発電
秋田市羽川（稼動済）	3,200Kw 3基	VENTI みやぎ生協
秋田市向浜 （2018/1月稼動）	3,200Kw 3基	VENTI 日本製紙
秋田市潟上市 （2020/5月完工）	3,200Kw 22基	VENTI 三菱商事
秋田県三種町 （2019/3月完工）	3,000Kw 3基	VENTI JR東日本
能代市八峰町 （2019/3月完工）	3,000Kw 2基	VENTI JR東日本
合計	37基	112,600Kw

国内最大規模 出力6万6千誌

ウェンティ社計画 県有保安林で風力発電

三菱商事が国内初参入

中部電力子会社シーテック（名古屋）の2社と共同で事業を実施することが19日、分かった。三菱商事が国内で陸上風力発電に参入するのは初めて。2019年前半の東北電力への発電開始を目指している。

ウェンティ社はきょう20日、三菱商事子会社の三菱商事パワ（東京）とシーテックの3社で事業の実施主体となる特別目的会社（SPC）「秋田潟上ウィンドファーム合同会社」を設立する。出資比率はウェンティ社が過半数の51%を占め、風力発電事業のノウハウを持つ2社と協力して事業成功を目指す。

ウェンティ社は北都銀行の持ち株会社フィデアホールディングス（仙台市）のグループ会社2社を含む県内外6社が出資。大規模事業を手掛けるに当たり、ノウハウを持つ協力企業を探していた。

計画によると、保安林は潟上市、佐藤裕之社長が、総合商社の三菱商事（東京）とら南側の海岸約6.1km、約3

現在、ウェンティ社が環境影響評価（アセスメント）を進めている。8月には造成工事などに取り掛かり、来年度から建設工事に着手する。工事や風車の保守点検業務などの県内業者への発注、環境教育の実施などの地元貢献も検討している。

三菱商事は米国で陸上、オ

国内最大規模 出力6万6千誌

ウェンティ社などが風力発電所を建設する県有保安林

事業概要
面積：360万㎡
風車：(3千kW)×22基
合計出力：6万6千kW
年間想定発電量：1億4200万kWh

ラングで洋上の風力発電事業の実績がある。国内では日立造船（大阪市）などが新潟県村上市の沖合で計画中の洋上風力

2016年5月20日 秋田魁
国内最大規模の秋田潟上ウィンドファームプロジェクトが本格始動しました。幣行がアレンジャーとして全14行との調整を行っております。

2018年4月16日 秋田魁
日本製紙秋田工場の隣地における風力発電開発。幣行がアレンジャーを担っております。

日本製紙とウェンティ社（秋田市）共同出資

向浜風力発電所が完成

風車3基、6千世帯分

発電所は、同市向浜にある。風車は約1千平方メートルで一般家庭1世帯分の約10倍の規模。日本製紙秋田工場の西側の国の所有地約1.5ヘクタールに相当する有地を借り受けて建設。総事業費は約3億円。2018年10月に着工し、今年1月に完成した。日本製紙が風力発電事業に参入するのは初めて。

風車はエネルギー1千世帯分に相当する出力200kW。3月末時点で県内で最大の風車3基、6千世帯分を誇る。向浜風力発電所は、日本製紙とウェンティ社の共同出資で建設された。日本製紙とウェンティ社が共同出資で建設された。日本製紙とウェンティ社が共同出資で建設された。日本製紙とウェンティ社が共同出資で建設された。

日本製紙とウェンティ社が共同出資で建設された。日本製紙とウェンティ社が共同出資で建設された。日本製紙とウェンティ社が共同出資で建設された。



2013年12月
東北3生協ほか関係者と基本合意書を調印

2016年10月19日 秋田魁
共同開発を進めていた風力発電開所が完成し、運転を開始しました。

コープ東北グリーンエネルギーみやぎ生活協同組合理事長
ギー(秋田市、社長「宮本弘」が秋田、由利本荘両市の沿岸

コープあきたなど出資 風力発電所が完成 秋田、由利本荘に3基



テープカットを行い、風力発電所の完成を祝う事業関係者

部に建設していた風力発電所が完成し、18日に秋田市下浜で発電事業の開始に合わせた記念式典が行われた。事業関係者ら約100人が完成を祝った。

記念式典では宮本社長が「東日本大震災からの復興はこれから。原発再稼働の問題もあり、再生エネルギーの活用を進めたい。秋田が発展できよう事業に取り組みたい」とあいさつ。関係者らがテープカットを行った。

名称は「コープ東北羽川風力発電所」。昨年8月に菅工社ウェンティ・ジャパン(同市)、北都銀行(同市)、市民風力発電(札幌市)の6者が共同出資して設立した。資本金は5千万円。風力発電設備の総事業費は約27億円。みやぎ生協が2基、いわて生協が1基の建設費を拠出した。

し、秋田市下浜羽川に2基、由利本荘市岩城勝手に1基整備した。いずれも米ゼネラル・エレクトロニクス(GE)製で全高135m、3基合わせ総出力は7485kw。GEが日本向けに出荷した製品で、設置は国内初。

コープ東北グリーンエネルギーは、再生可能エネルギーの活用と推進を図るため、2013年12月、みやぎ生活協同組合(仙台市)、いわて生活協同組合(岩手県滝沢市)、生活協同組合コープあきた(秋田市)、風力発電事業会

年間発電量は一般家庭約4200世帯分に当たる1500万kwh時を見込み、東北電力に売電する。年間売電収入は約3億3千万円の見通し。宮本社長は「生協の設備での利用や組合員への小売りも検討していきたい」と話した。

(羽生恭子)

⑤ プロジェクトファイナンスによる 事業支援

特徴	ポイント
返済財源	当該事業のキャッシュフロー
遡及の有無	遡及なし（Non-recourse）
リスク負担	リスクは一部、銀行等が負担
エクイティ	通常20%以上が望ましい

北都銀行は20%に拘らない審査スタンス

太陽光発電向け⇒5件



風力発電向け⇒13件



木質バイオマス発電向け⇒1件



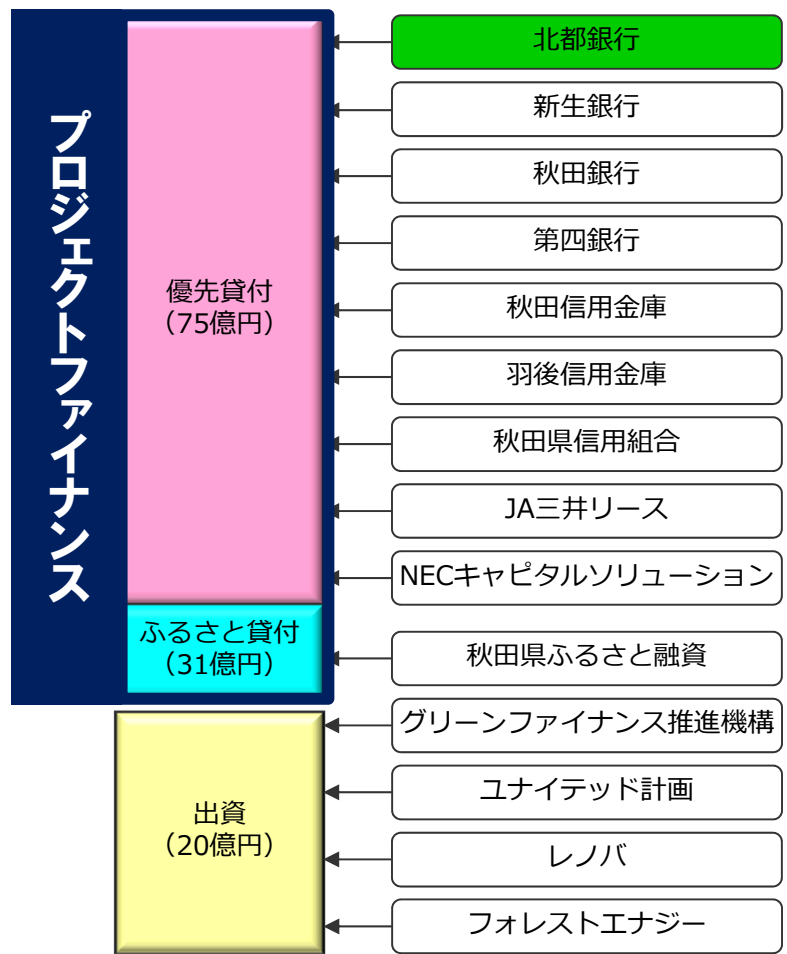
～5年間で累計19件（2018/3現在）のプロジェクトファイナンスを組成～

北都銀行が中心となり、プロジェクトファイナンス組成

事業性評価開始から約2年で融資方針決定

事業の評価ポイント

- ガバナンス体制
- コンプライアンス体制
- 地域貢献
- 環境保全
- O&M体制
- 収益性
- 燃料の安定調達

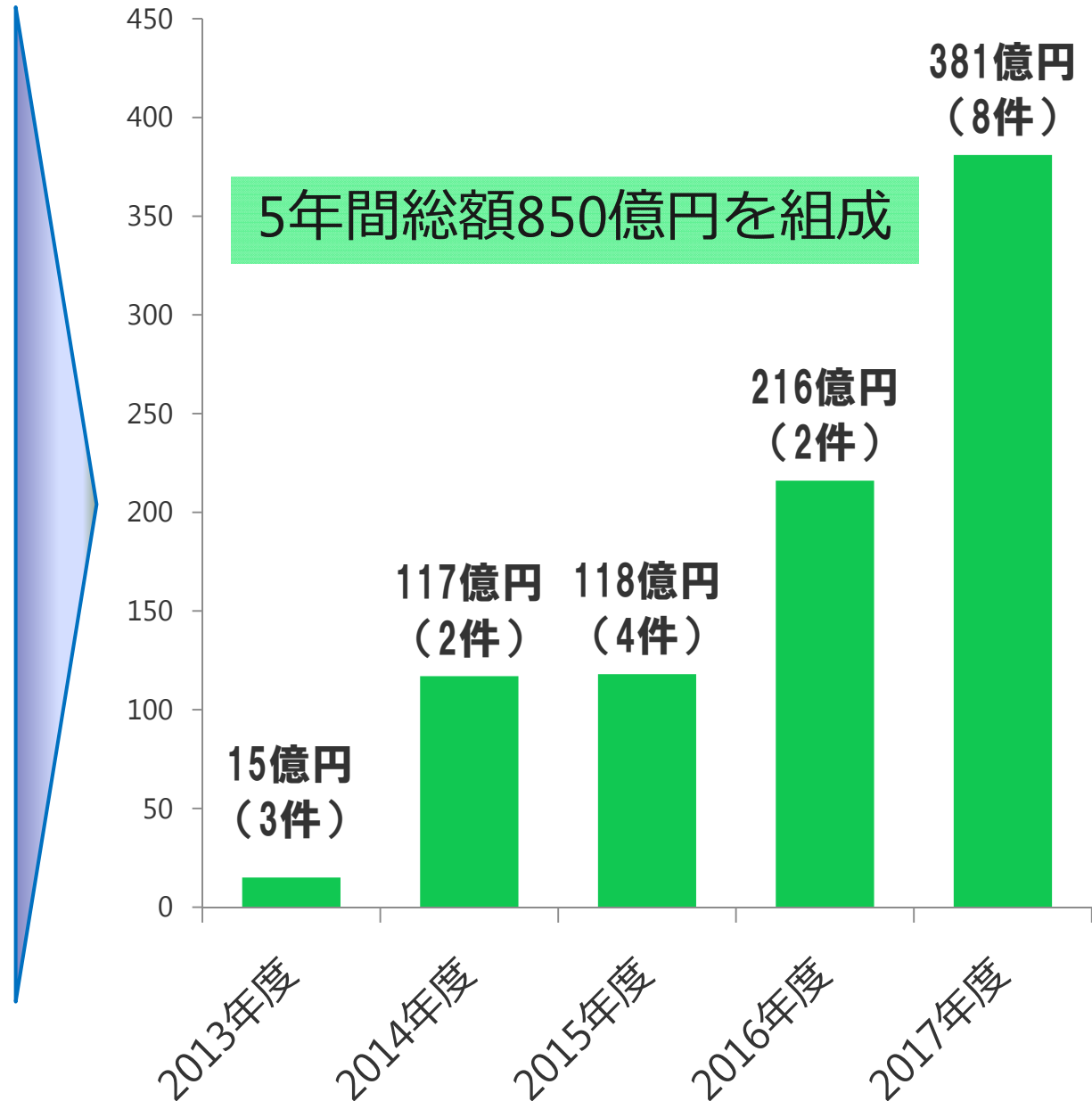
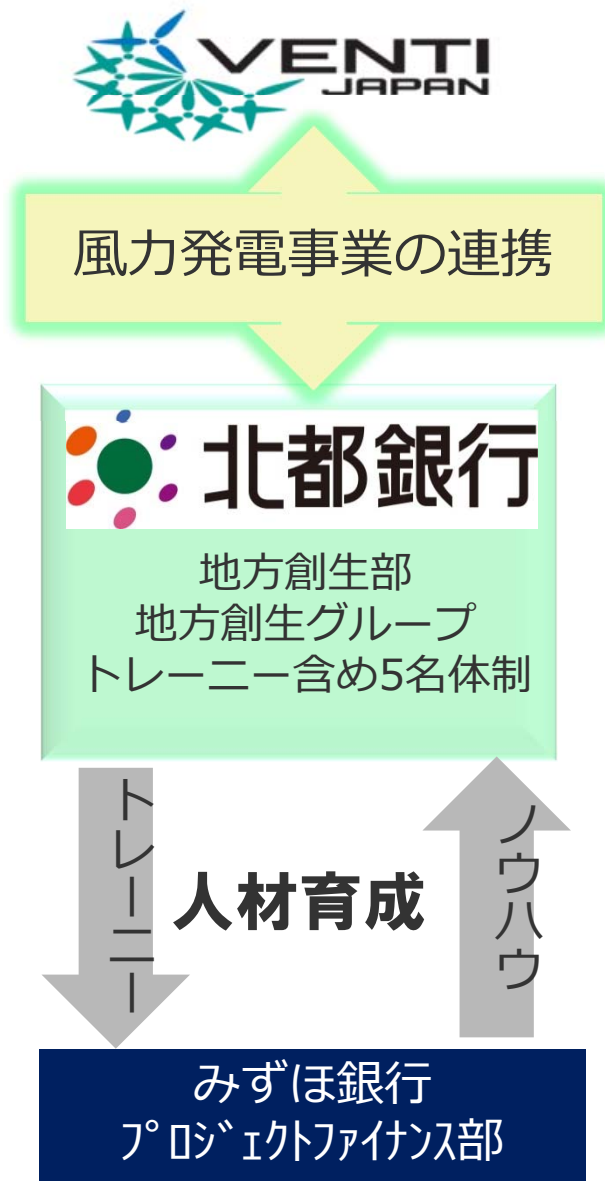


↑プロジェクトファイナンス契約を締結

オール秋田で支援

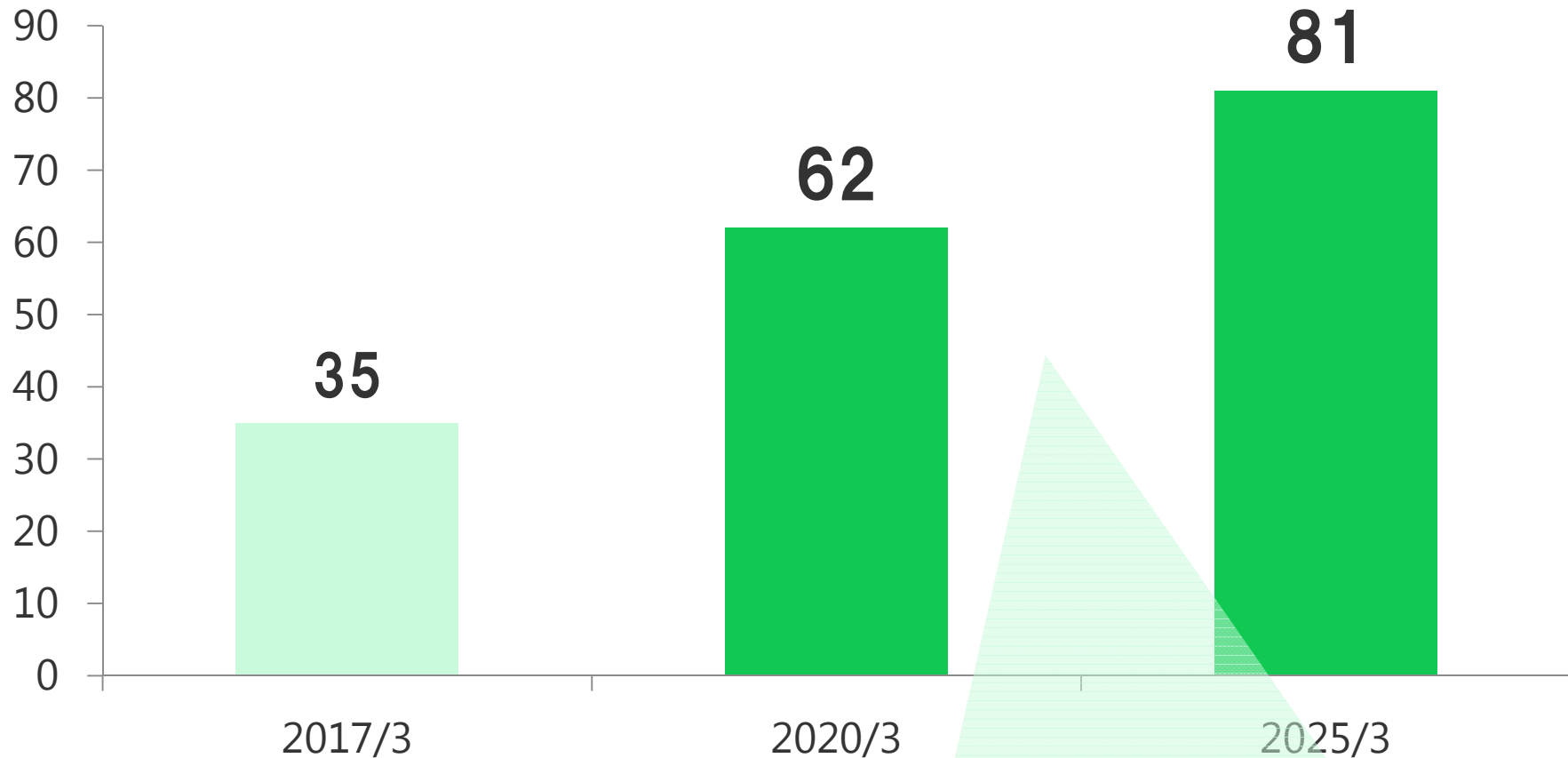


プロジェクトファイナンス 《推進体制と組成額推移》



⑥今後の展開

【図表】 『第2期秋田県新エネルギー戦略』 秋田県 風力導入目標（万kw）



➤ 風力発電の導入量を2025年までに現在の2倍へ

関連産業による経済波及効果

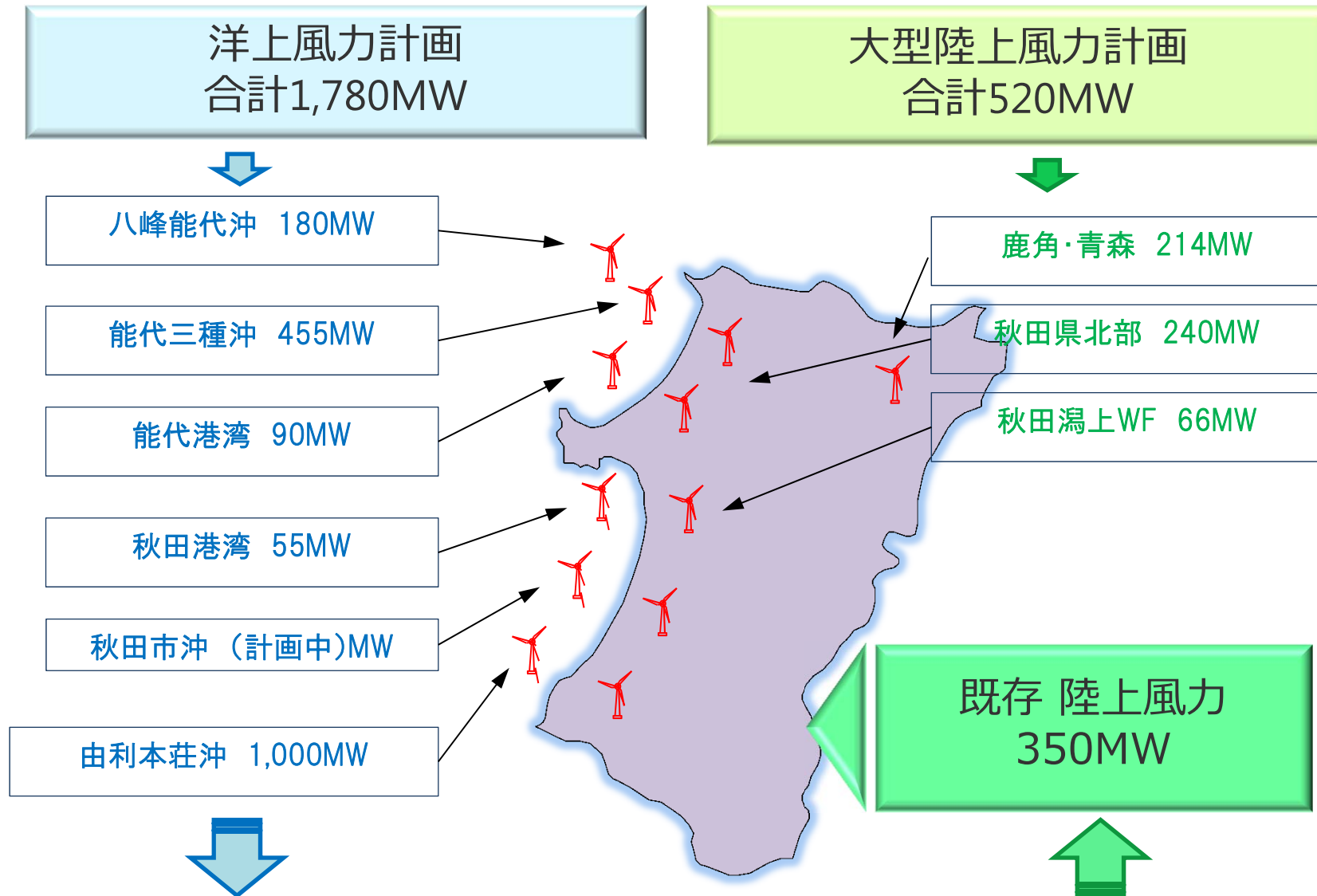
- 秋田県の再エネ導入目標が達成され（注：風力以外も含む）、かつ県内企業による最大限の事業参入が図られた場合、県内経済波及効果は以下の試算となります。

		2016～2020	2021～2025	合計
建設に伴う効果	経済波及効果	966億円	650億円	1,616億円
	雇用創出効果	9,000人	6,200人	15,200人
運転に伴う効果	経済波及効果	629億円	893億円	1,522億円
	雇用創出効果	5,900人	8,600人	14,500人
合計	経済波及効果	1,595億円	1,543億円	3,138億円
	雇用創出効果	14,900人	14,800人	29,700人

（秋田県公表資料より当行作成）

洋上風力の動き

※計画については報道等で公表され弊社が知り得ている案件



洋上風力構想は既存陸上風力の5倍の計画！

風力発電コンソーシアム

ウェンティ・ジャパンと北都銀行が共同で設立



会員総数100団体以上

(2019年3月現在)

地公体・大学・電力事業者
土木建設・メーカー・製造業
金融等様々な業種の団体

産業化研究部会

電力インフラ研究部会

O&M研究班

部品産業化班

地域振興班

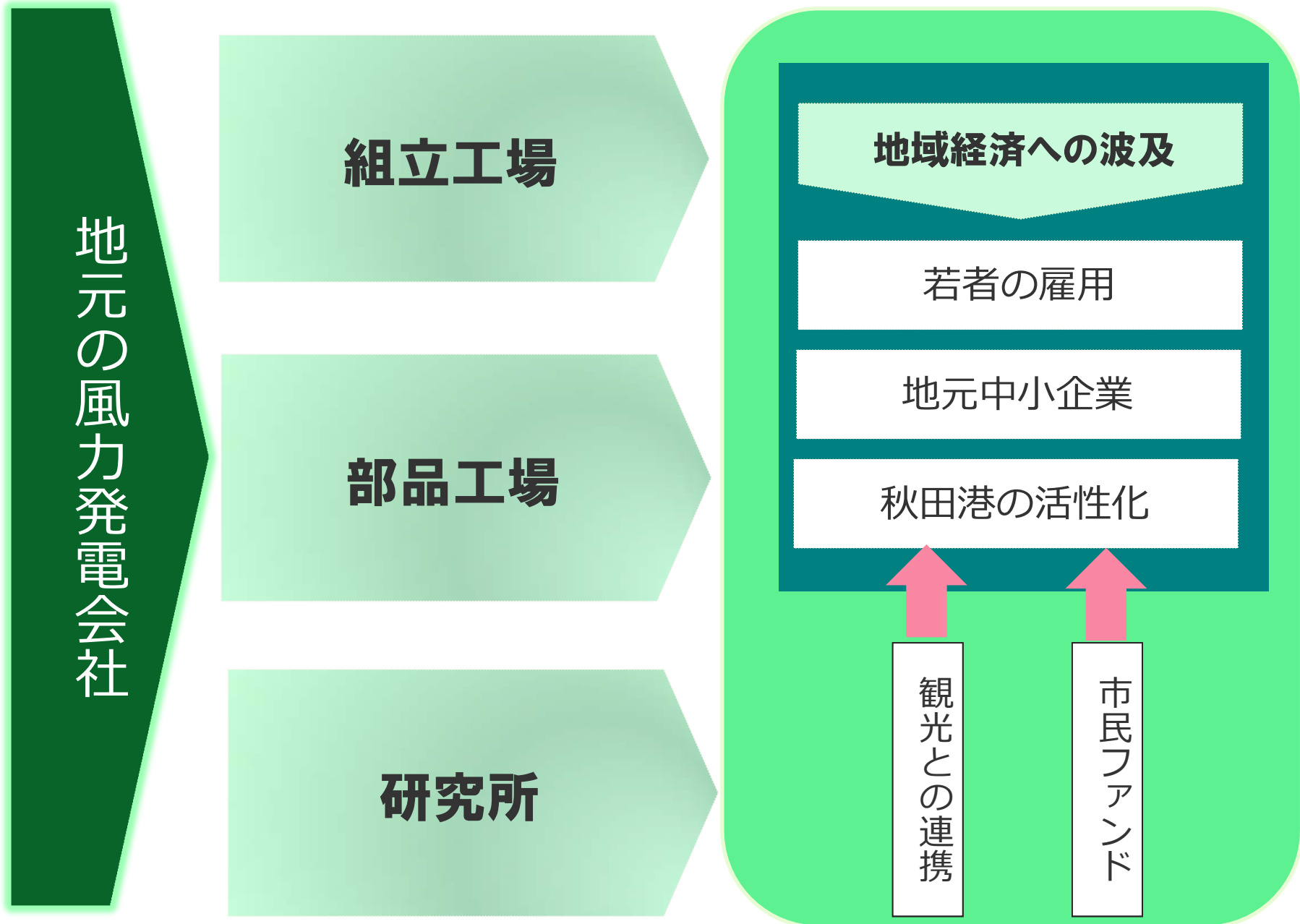
インフラ研究班



(2013年9月17日設立総会の様子)



(地域振興班会議中の様子)



ご清聴ありがとうございました



(写真)株風の王国プロジェクト提供